



<http://www.hcr.or.jp>

Int. Home Care & Rehabilitation

CONTENTS

国際福祉機器展H.C.R. 2015
～14か国・1地域、523社が最新の福祉機器を
出展! ————— 1

H.C.R.セミナー報告
福祉施設の実践事例発表
～役立つ活かせる工夫とアイデア [B会場] - 3

H.C.R. 2014 福祉機器利用者アンケート
回答の概要② ————— 6

H.C.R.海外コーディネーターからの
メッセージ ————— 7

Information ————— 8

H.C.R. 2015 出展企業・団体の皆さまへ
主催者企画への出展製品の展示・貸出にご協力ください!

H.C.R. 2014 国際シンポジウム報告書
「ヨーロッパ諸国の認知症政策の現状を踏まえ、課題に挑む
～認知症政策への理解拡大と日本の支援活動の充実のために」を刊行

H.C.R. 2015ビジュアルデザインが決まりました

編集・発行：一般財団法人 保健福祉広報協会
Publisher: Health and Welfare Information Association
住所：〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

国際福祉機器展 H.C.R. 2015

～14か国・1地域、523社が
最新の福祉機器を出展!

2015年10月7日(水)～9日(金)の3日間、第42回国際福祉機器展H.C.R. 2015は東京ビッグサイトにて開催されます。

7月1日(水)の時点での出展社数は14か国・1地域からの523社・団体となり、出展ブースは1,816小間に達しています。

H.C.R. 2015では、障害のある方々や介護を必要とする方々などの生活の質を支える福祉機器の展示や関連のイベントを、ゆとりをもってご覧いただくための会場内のスペースの配慮などへのさらなる取り組みを進めます。

展示会と併催する国際シンポジウムでは、急速に必要性が高まりつつある介護サービス従事者確保の問題について欧米のレポートやわが国の取り組み状況などから考察するほか、多様なニーズにそった各種セミナーや講座、特別企画などを実施する予定です。



1. H.C.R. 2015 国際シンポジウム

テーマ：介護サービス従事者をいかに確保するか? ～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題とその対策を考える

主旨：わが国で介護サービス従事者を確保する必要性が急速に高まりつつある状況を踏まえ、欧州と米国の実践報告、日本での取り組みの現状などから、今後の対応のあり方について考察します。

- 日時：2015年10月8日(木) PM
 - 会場：東京ビッグサイト
会議棟6階「605-608会議室」
 - 定員：250名 ●参加費：1,000円
- ※参加申込方法など詳細は順次Webサイト
(<http://www.hcr.or.jp>)に掲載します

■ 登壇者

[シンポジスト]

① ドイツ /
Dr. Grit Braeseke 氏：
ヨーロッパ・ヘルスケア・リサーチ&
社会経済研究所 サイエンス分野担当部長

② アメリカ /
Dr. Robyn Stone 氏：
米国リーディング・エイジ・センター事務局長、
元ホワイトハウス副次官補佐(障害者・高齢者・
介護政策担当)、元米国保健福祉省次官補代行

③ 日本(施設現場の立場から) /
湯川 智美 氏：
社会福祉法人 六親会常務理事、本会監事

④ 日本(研究者の立場から) /
塚田 典子 氏：
日本大学商学部教授、本会理事



Dr. Grit Braeseke 氏



Dr. Robyn Stone 氏



湯川 智美 氏



塚田 典子 氏

[チューター]

近藤 純五郎 氏：
一般財団法人 医療経済研究・
社会保険福祉協会理事長、
弁護士、元厚生労働事務次官



2. H.C.R.セミナー

保健・福祉・介護に関わるテーマのなかから、右記のようなプログラムを会期中に順次開催する予定です。

i) 一般・福祉サービス利用者・家族むけセミナー

- ① はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー (テーマ数：10)
- ② 高齢者むけの手軽な日々の食事
- ③ 一般家庭における介護で腰痛にならないための基本技術

④ 高齢者むけの住まいの種類と選び方 など

ii) 福祉職・介護職むけセミナー

- ① 福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる工夫とアイデア
- ② 福祉施設における環境問題への取り組み
- ③ 福祉施設での感染症の知識と対応 など

3. 特別企画

- ① 障害児のための「子ども広場」：子ども用福祉機器相談・療育相談も実施。
- ② ふくしの相談コーナー：福祉機器・自助具の相談コーナーを設置。

③ アルテック講座：携帯電話など身近にあるテクノロジー(アルテック)の福祉的活用方法について解説・実演。

④ 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー～いつまでも楽しく働く10のコツ展：今年は高齢になっても楽しく働くことをテーマに、役

立つ用品・用具、便利グッズを紹介。

⑤ 福祉機器開発最前線：研究・開発中の機器や新製品、最先端の介護ロボットを紹介。

⑥ 被災地応援コーナー：東日本大震災で被災したセルプ(障害者授産施設)の製品を販売。



※上記のプログラムは現時点での準備の状況ですので、追加や変更の可能性があります。

最新情報と詳細はH.C.R.Web (<http://www.hcr.or.jp>) サイト、メールニュース、プレスリリースなどで、順次お知らせしていく予定です。